

第5回菊池市総合計画策定審議会 議事録

I. 概要

日時：2021年9月27日（月）13：30～15：30

場所：菊池市役所3階 305大会議室

参加：委員 上野委員、古津委員、城委員、泉委員、合志委員、田中委員、岩根委員、
工藤委員、加來委員、松永委員、最上委員、緒方委員、佐藤委員、
増住委員、山口委員、北村委員、福田委員、中里委員

※欠席 山本委員、坂田委員、中村委員

菊池市役所企画振興課 後藤部長、中川課長、上野課長補佐、井島係長
高木参事

地総研 宮野、内藤（文責）

※以下敬称略

II. 会次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

（1）第3次菊池市総合計画 基本構想 前期基本計画（案）について

（2）その他

4. 閉会

III. 議事詳細

| 発言者 | 内 容 |
|-----|--|
| 事務局 | <p>1 開会</p> <p>本日は委員 21 名中 18 名参加。条例の規定の通り過半数超となり本審議会は成立する。</p> |
| 会長 | <p>2 会長挨拶</p> <p>前回の審議会では、計画素案に対し委員の皆様から多数の意見をいただき、大幅に修正がなされている。本日の審議会で計画の方向性が定まれば良いと考えている。審議内容が計画全体にわたるため、進行が難しいが、各章で分割して審議を進めていく。</p> <p>それでは、事務局より説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>3 議事（1）第 3 次菊池市総合計画 基本構想 前期基本計画（案）について</p> <p>第 4 回策定審議会でいただいた意見を一覧表にして事前に送付している。計画案に内容を反映させているため、審議の中でご意見を頂戴したい。資料を送付してから本日までにいただいた質問は本日配布している。個別での説明は省略するため、各章で意見をいただきたい。</p> <p>それでは、計画案について説明する。前回、全体を通しての読み辛さを指摘されたため、文章を読みやすく修正している。また、各担当課との協議を実施、施策推進の上で取り組む内容を追加しており、変更箇所を重点的に説明する。</p> <p>まず、第 1 章の変更箇所について説明する。「ごあいさつ」に市長の言葉を追加。「計画の位置づけ」と「構成・期間」は読みやすさを重視し順番を変更。「社会潮流」の各項目は文章を修正。「菊池市の特性」を追記。「人口動態」はグラフを削り、総人口と年齢別人口のみを記載。「市民の意向」は、調査概要を簡略化、加えて市民の満足度と重要度の相関図に前年度調査との比較を追加。「高校生アンケートの結果」は資料編に移すことを前提に計画案から削除。「市民ワークショップの結果」は、結果分析の文章を追加、修正。「人口ビジョン」は第 3 章で示すこととしたため削除。「重点課題」は社会潮流や人口・財政状況等で既に示しているため重複感をなくすため削除した。ここまでの内容でご意見をいただきたい。</p> |
| 会長 | <p>第 1 章は本計画の総論を示している。なぜ計画を策定するのかを説明した後、市を取り巻く課題について、重複感をなくし簡潔に示すなど大きく修正している。質問やご意見等あればお願いしたい。この場で意見が出ないようであれば、後からでも指摘をしてもらいたい。</p> |

| | |
|-----|--|
| | 無ければ、事務局より次の説明をお願いします。 |
| 事務局 | <p>続いて第 2 章の基本構想。「まちづくりの理念」の文章を修正。「市の将来像」は、これまでの計画案に示していた将来像に加え、まちづくりの三つの柱の考え方を加筆。「人」はまちづくりに最も重要な要素。地域の魅力を高めるため、市民と行政との協働や、人財育成に取り組むことで市民主導による新しい地域社会をつくる。「自然」については、本市には美しく豊かな自然がある。また、脱炭素や循環型社会の実現に力をいれる必要がある。自然環境の保全と再生に努めることが必要。「経済」については地域資源を活かした経済の活性化が求められる。自然や歴史、食などの地域資源を活用して持続可能なまちづくりを行う。これらの 3 つの柱に取り組むことで市の将来像の実現を目指す。「土地利用の方向性」については、本市の土地利用について、長期的な展望のもとに土地利用を図る必要があることを表現。本計画で方向性を示し、計画的な土地利用を推進する。詳細は都市マスタープランなどの個別計画で示すため方向性にとどめている。第 2 章についてご意見をいただきたい。</p> |
| 会長 | <p>基本構想は総合計画の中で最も重要な要素。まちづくりの理念や、将来像、加えて菊池市の土地をどのように生かすかという方向性について簡単に説明している。質問や意見をお願いしたい。特に質問がないのであれば後からでも構わないのでお願いしたい。</p> <p>無ければ、事務局より次の説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>次に第 3 章基本計画。体系図の図表をわかりやすいよう変更した。次に本計画と総合戦略との関係を示している。総合戦略は人口減少対策に特化した計画。本計画の中では総合戦略で掲げている施策を重点施策と定め、人口ビジョンに示す将来人口の目標値 33,000 人確保を目指す。「横断的に取り組む項目」は前回計画では示していない新たに記載する項目。これまでは各課が各施策にそれぞれ取り組んでいたが、縦割り組織では大きな進歩につながらない。そこで、ここに示す 4 項目に各課横断的に取り組むことで対応していくという内容にしている。次が分野別施策の内容となるため、ここまでで意見や質問をお願いしたい。</p> |
| 会長 | <p>構成がイメージしづらいと思うが、第 1 章で示した現状と課題に対応するものが基本計画。ここから具体的な計画となるため、体系図を示している。次に菊池市の重要な問題へ対応するため、国と連携して推進する総合戦略と本計画の関係を示している。施策は課が単独で取り組むのではなく、各課横断的に取り組むことで本計画を実現していくと</p> |

| | |
|-----|---|
| | いうこと。意見や質問をお願いしたい。 |
| 委員 | 横断的に取り組む項目については、特徴的で良い考えだと思う。その中で SDGs やデジタル化など喫緊の課題や今後取り組む目標が掲げている。分野別施策にも要素はあると思うが、各施策と密接に関係しているということを見えるようにしていきたい。 |
| 事務局 | SDGs の推進については各施策に関連する SDGs のゴールを示す予定。一覧で示すことができるよう準備する。 |
| 会長 | 良い意見だと思う。施策の総論として記載すると成果が図れない。施策で示す成果指標のうち、横断的に取り組む項目とも関わりがある項目が示されるとわかりやすい。 |
| 事務局 | 続いて分野別施策に入る。全てを説明する時間はないため、政策分野ごとに簡潔に説明する。1分野 15分程度で意見をもらいたい。 まず、「政策分野1 産業と経済」について。「施策1 関係人口の拡大」から「施策6 商工業の振興」の6つの施策で構成。地域活性化を図るには経済の活性化が不可欠。感染症等の新たな変化にも対応し、各分野で永続的発展のための取組を推進していくことを目指す。委員の皆様から意見をもらいたい。 |
| 会長 | 6つの政策分野があるため、発言しやすい分野で積極的に発言をお願いしたい。 |
| 委員 | 質問だが、「施策2 観光の振興」の「3 観光基盤の強化」の項目にある観光パンフレットの多言語化は、何ヶ国語を想定しているのか。 |
| 事務局 | 明確に確認していないが、英語は必表記する。韓国語も表記すると思われるが、担当課へ確認する。 |
| 委員 | ベトナム人が増加しているため、ベトナム語の検討をお願いしたい。 |
| 委員 | 「施策1 関係人口の拡大」の「1 菊池ファン創出の取組」に菊池一族をはじめとした歴史文化の活用が示されているが、現状と課題では、認知度が低いと記載してある。菊池一族を観光資源としてPRしようとしていることは感じられるが、具体的な中身が見えてこない。菊池一族単体で見せるより、菊池一族を通して現代人に何を伝えたいかが重要だと感じる。第1章で日本遺産が紹介されているが、これは菊池一族から脈々と続いている米作りの歴史だと思われる。古くから農業に頼らない高度な農業技術を継承してきた菊池一族の精神性にアプローチし、映画やアニメーションなどの媒体を活用して歴史の流れを対外的にPRできると良いと感じた。 |
| 事務局 | 企画振興課の菊池一族プロモーション室で認知度向上の取組を実施 |

| | |
|-----|--|
| | <p>している。今後、さらに取組を充実させ、菊池一族の精神性を訴えかけるような事業も検討して取り組んでいきたい。</p> |
| 委員 | <p>「施策1 関係人口の拡大」の「1 菊池ファン創出の取組」の下段にある項目は、診療所や旅館と連携した体験型健康プログラムの推進はわかるが、アウトドアとテレワーク関係が不明瞭である。文言の変更が必要と思われる。</p> |
| 事務局 | <p>担当課と協議の上、修正する。</p> |
| 委員 | <p>「施策3 農業の振興」の取組のひとつにスマート農業技術の導入による環境負荷の軽減がある。現在、農薬による健康被害への関心が高まっている。農薬のドローンによる散布も開始された。不妊の問題とも密接に関連しており、次世代へ悪影響を及ぼすことも学会等で明らかになっている。農薬散布の際に通知は来るが、具体的にどのような薬剤がどれくらいの量散布されているのかを市民は知らされていない。窓を閉めるよう注意喚起はなされるが、それだけでは解決しない。具体的に情報を開示してもらいたい。</p> <p>また、消費拡大・地産地消の推進の取組に営農指導の強化があるが、指導員に有機農家指導員を入れてもらいたい。環境保全だけでなく次世代のためにもなるため検討をお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>農薬散布の具体的な情報開示については即答できないので担当課と協議する。営農指導についても有機農業指導員創設の意見が出たことを伝える。</p> |
| 委員 | <p>「施策2 観光の振興」の観光資源の魅力化の取組の中で菊池溪谷について触れられているが、市民が足を運ぶ機会がないことが問題である。学校の授業に取り入れるなどの環境づくりが重要であると思う。菊池の学校に通うのであれば、周辺の歴史や文化を勉強する機会がほしい。ただ、施策として記載するだけでなく、どのように運用するかを検討いただき、中長期的な視点で取り組んでももらいたい。</p> |
| 事務局 | <p>教育現場では、菊池市の観光や歴史文化を総合学習の時間で学習している。足を運ぶことが重要という意見が出たことを学校教育課に伝える。</p> |
| 委員 | <p>「施策4 畜産の振興」にある飼料米の推進は良い取組と感じる。これから問題になると思われるのがゲノム編集された飼料が利用されること。遺伝子操作された作物が菊池で栽培されることがないよう施策に入れてもらいたい。</p> <p>また、遺伝子操作されたものに対して国は表示を求めているため、菊池市では遺伝子操作がされていないものに対して表示を進める</p> |

| | |
|-----|---|
| | <p>ことをやってもらいたい。全国では OK シードプロジェクトが展開されている。菊池市にも検討してもらいたい。</p> |
| 事務局 | <p>この場で即答はできないので、2つのご意見については、担当課へ確認の上、対応可否を協議する。</p> |
| 委員 | <p>放射線は一部の遺伝子しか破壊しないのに対し、ゲノム編集は類似遺伝子をすべて破壊する。しかも抗生物質耐性遺伝子等が混ざっており、それらが人体に影響を及ぼさないことは実証されていない。なお、抗生物質耐性遺伝子は牛から見つかっており、飼料の安全性が危惧されている現状がある。</p> |
| 委員 | <p>「施策1 関係人口の拡大」が観光誘客や移住定住につながる基礎となる。移住定住については計画に入れず、総合戦略で対応していると解してよいか。</p> |
| 事務局 | <p>移住定住については横断的に取り組む項目で示している。それぞれの施策に取り組むことにより、移住定住につながると考えており、個別の施策は設けていない。</p> |
| 会長 | <p>続いて「政策分野2 子育てと健康福祉」をお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>「政策分野2 子育てと健康福祉」は6つの施策で構成される。全国的に少子高齢化が進む中、子育てや介護への不安を低減し、自分らしく生きることができる支えあいの地域づくりを推進する。ご意見をいただきたい。</p> |
| 委員 | <p>「施策7 子育て支援の充実」の取組にハイリスク妊婦や生活習慣に問題のある幼児の増加が記載されている。「施策8 健康づくりと医療体制の充実」にも言えるが、食品の素材そのものから安全なものを選択するということを指導の中で行ってもらいたい。「施策9 高齢者福祉の充実」の高齢者の生きがいづくりの取組では、千葉県で農福連携の事例がある。高齢者施設に限らず、福祉施設で有機農業を行っているところもある。そのような食材を道の駅や給食等へ利用していくことを検討してはどうか。</p> |
| 事務局 | <p>子育て支援や高齢者福祉に食の安全性の視点が必要ということだと思われる。食に関する取組について担当課と協議する。</p> |
| 委員 | <p>「施策7 子育て支援の充実」で放課後児童クラブについて言及されている。現在13クラブ程度ある。しかし、利用料や子どもの預かり方法が統一されていない。市の指導でどこでも同じサービスが受けられる仕組みを作ることが必要。また、被虐待児童に関する相談もある。子どもたちが SOS を出しやすい、情報を収集しやすい仕組みづくりが必要と思う。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | 個別計画に記載があるものもあると思われる。担当課と協議の上、総合計画でどこまで記載するかを検討していく。 |
| 委員 | 「施策7 子育て支援の充実」について質問だが、病児病後施設を2ヶ所増やすと明確に示してあるが、放課後児童クラブは示されていない。共に数字を示すことができるのであれば合わせた方が良いと感じた。 |
| 事務局 | 病児病後児施設は個別計画に数値を記載しているため、明記しているが、放課後児童育成クラブは確認していない。担当課と協議の上、調整する。 |
| 委員 | 数値の根拠の有無は説明がなければわからない。具体的に数値をあげるのであれば、注釈で個別計画に記載済の旨説明をつける必要がある。記載の可否は一任するが、もし記載する場合は注釈をお願いしたい。 |
| 会長 | 文章が放課後児童クラブの開設をしたいのか、開設支援をするのか主語がはっきりしていないのでわかりづらい。 |
| 委員 | 数値は成果指標で示すものだと思う。表現は増設にとどめ、明確な数値は出さなくてよい。「施策9 高齢者福祉の充実」の高齢者の生きがいがづくりの取組で千葉県の事例が先ほど出たが、総合計画に入れる必要はない。高齢者施設の個別方針で取組を進めている部分もある。広報するに留めるのであれば構わないが、施策にあげると施設が困る恐れがある。 |
| 会長 | 次は「政策分野3 自然環境と暮らしの基盤」の審議に入る。説明を事務局からお願いしたい。 |
| 事務局 | 「政策分野3 自然環境と暮らしの基盤」は8つの施策で構成されている。この分野は自然環境や都市機能などインフラやまちづくりに関する分野。災害に強く自然と共生したまちづくりを進めることを目的としている。意見をお願いしたい。 |
| 委員 | 「施策19 道路・交通体系の整備」で前回の策定審議会で意見としてあげた、通学路整備の視点が盛り込まれており、ありがたい。「現状と課題」に通学路に指定されている道路に危険個所が存在するため整備が必要という文言が必要。歩道がなく、通学路の標識もない道路を通学している子どもがいる。那覇市では、幹線道路が整備されつつある一方、路地に入ると昔ながらの道路がある。そのような道路には通学路のマーカ―などを個別に設置することで対応している。視点の一つとして入れることで、子育て世代の親の安心感が高まる。 |
| 委員 | 「施策13 脱炭素・循環型社会の実現」のごみ減量化の推進の取 |

| | |
|-----|---|
| | <p>組の中に生ごみ処理機の購入補助がある。生ごみ処理機を利用せず、堆肥化する取組は合志市で進んでおり、出前講座による体験学習を行っている。保護者からもごみが減ったという声が上がっていて、機械を購入せずとも土さえあれば取り組むことができるため、幼稚園や保育園で実演してはどうか。</p> <p>「施策 14 自然環境の保全」に地下水問題がある。ここで示されている今後の対策は市民に開示されるのか。水は身近な問題であり関心は高い。このような問題を子どもたちに伝えてほしいと思う。より身近な問題として受け止められる。将来菊池市を担う子どもたちと一緒に考えることができればと思う。</p> |
| 事務局 | <p>ご意見については、担当課と協議する。ごみ減量化は具体的すぎる部分もあるため記載の有無について検討する。地下水問題は方向性が決定すれば公表するが現在検討中であり、公表するか明確には示すことはできない。</p> |
| 会長 | <p>地下水問題は以前から長らく検討中となっている。検討するだけでなく対策方法を見出し、実施していくことが求められる。</p> |
| 委員 | <p>先ほど意見として出た通学路について意見を述べたい。私の子どもが通う学校では、親の意見で通学路の危険箇所を決定している。しかし、実際に歩いているのは子どもなので、子どもから意見を聞いて危険箇所を決める方法も考えられるのではないかと。</p> |
| 事務局 | <p>現在、通学路は教員や保護者による点検が行われているものの、実際に通う子どもの視点も必要である。ご意見を担当課へ伝える。</p> |
| 委員 | <p>「施策 16 防災・減災体制の充実」では、応援体制と受援体制について記載する必要があると思う。また、菊池市の災害は台風などの風水害がメイン。戸建住宅の耐震化支援も大事だが、窓ガラスにシャッターを取り付けるための支援も検討いただきたい。</p> |
| 会長 | <p>担当課と相談してもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>「施策 13 脱炭素・循環型社会の実現」のごみ減量化の推進について、アプリの活用が記載してあるが、高齢者の中にはごみの出し方から理解していない人がいる。出前講座もコロナ禍で開催できていないと聞くので、アプリを使うことができない人に向けて掲示できるものも検討が必要である。</p> <p>次に、通学路の話だが、私の子どもはスクールバスで通学している。危険箇所の点検はどのように行っているのか気になった。中学校への通学路では、自転車通学の際、車からの幅寄せや、パトカーとぶつかりそうになった事例があったと聞く。路肩が崖のようになってい</p> |

| | |
|-----|--|
| | る道路を通っているのので、危険箇所点検についての状況を知りたい。 |
| 事務局 | 企画振興課の認識も不足していた。担当課に確認の上、回答したい。 |
| 会長 | 「施策 13 脱炭素・循環型社会の実現」についてだが、菊池市はSDGs 未来都市にも選定されている。脱炭素・循環型社会の実現においてSDGs 未来都市ならではの取組を入れてみてはどうかと感じる。 |
| 事務局 | SDGs 未来都市の取組はSDGs 未来都市計画で具体化しているが、総合計画には明記していない。明記するかは担当課と協議したい。 |
| 委員 | 先ほど意見として出たごみ出しの件だが、ごみの分別が難しい。アプリでの確認に加え、ごみ収集カレンダーも活用しているが、細かい分別が必要であり一目で判断するのは難しい。分別の大事さは理解しているが、難しくなるのでは、分別意欲が低下する。出前講座を聞いても理解ができない。これまでよりも柔軟に対応する必要があると思う。検討してもらいたい。 もう一点は消防団のなり手不足の件。消防団の定員については、熊本地震以前から課題としてあがっている。前回より踏み込んだ成果指標を作ってもらいたい。 |
| 事務局 | ごみ出しについての意見は、担当課へ伝える。成果指標は次回示すが、消防団にかかる指標が設定されるかは未定。担当課には伝える。 |
| 会長 | 次に「政策分野 4 教育と文化」の審議に移る。 |
| 事務局 | 「政策分野 4 教育と文化」は 6 つの施策で構成。学校教育や生涯学習を通じた人財育成と、人権尊重や男女共同参画の推進による市民一人ひとりが活躍できるまちづくりを進める。意見をお願いしたい。 |
| 委員 | 「施策 21 学校教育の充実」の取組の中に学校給食センターの統合と記載があるが、どういう意味か教えてもらいたい。 |
| 事務局 | おそらく菊池北中学校が自校式で行っているものを学校給食センターへ統合することを想定している。 |
| 委員 | 将来的に自校式はやめる方針となっているのか。 |
| 事務局 | その件は確認していない。 |
| 委員 | 同じく「施策 21 学校教育の充実」の取組に ICT 機器の活用があるが、電磁波に対して不安を感じる人は多い。小学生の文集に電磁波の実験が載っていたが、子どもが自発的に実験したものではなく、親が不安を感じているためどのような物質が電磁波を通さないのか実験をしたものだった。Wi-Fi が小学校に設置されているが、スイッチが切られる時間はない。電磁波には発がん性も認められているため、電 |

| | |
|-----|--|
| | 磁波による健康被害の件も取組の視点に入れてもらいたい。 |
| 事務局 | 担当課につながが、計画に組み込むのは難しい。 |
| 委員 | <p>事前に求められた確認書で提出したが、「施策 21 学校教育の充実」の目的はコンパクトにわかりやすく示してはどうか。「確かな学力や豊かな心及び健やかな体を育むため、教師の指導力の向上を図り、質の高い授業を目指すとともに、基本的な生活習慣や学習習慣の徹底を図るための条件整備に努めます。」という表現にすることでわかりやすくなる。</p> <p>また、文化財の保護については、法改正が予定されている。目的は保護と活用が中心となっているが、今後はそれに加えて継承や、人・組織の育成の視点が重要になる。支援を行う旨は各所に記載してあるが、実際取組はどこに反映しているのか。市からは「施策 24 歴史文化の保存と継承」の「伝統文化や文化財の保護と活用」の取組に記載していると回答を受けたが、学校教育の場限定されているように感じる。学校教育だけでは難しいと感じる。地域で活動している祭りなどの支援や、年に1回もしくは各年で神楽等の発表を支援し、場を設けることが必要だと感じる。</p> |
| 事務局 | <p>「施策 21 学校教育の充実」の目的については、確認書一覧にある通り、担当課と協議中。担当課からは個別計画である教育振興計画から目的を引用していると聞いているが、協議の上、提案いただいた文言を盛り込んで修正をしたい。</p> <p>また、歴史文化の保存と継承について、継承者不足に対する取組がない、学校教育に限定されているという指摘があった。来年度から狂言の保護活動を行っている団体を通して、生徒が狂言を観覧する場を設け、良さを感じてもらうことを始める検討をしている。まずは学校教育の場で伝統芸能に触れるという意味合い。担当課もいずれは市全体への普及展開を進めたいと考えている模様。いただいた意見は再度担当課へ伝え検討していく。</p> |
| 会長 | 目的の文言の修正について、提案があった田中委員の表現は洗練されていると感じる。以前から使用されている表現なのか。 |
| 委員 | 学校教育は義務教育の場。生きる力を育むことが重要。生きる力を育むためには確かな学力が必要。学力の中には思考力や表現力が含まれる。そのために豊かな心や体験が必要だということ。伝わりやすい表現が良いと感じたので指摘した。 |
| 会長 | その指摘については共感できる。教育文化を通じて菊池市民の精神性を表すことが必要。菊池一族の話もあったが、それぞれの地域に歴 |

| | |
|-----|--|
| | <p>史があり、菊池地域の文化の一つとして市の会議の前に出席者全員で挨拶をするなど、丁寧な暮らしの文化の伝統があると感じる。美しい文化に溢れたまちというのが観光の魅力になると思うし、観光資源として文化性を育てていくと住みつけたいと思われる場所になると思う。施策の取組を見ても、文化財を扱っている部署は文化財の保存そのものに着目しがちである。企画振興課で「文化」の意味を広く捉え直すといいのではないかと感じた。</p> <p>それでは最後に「政策分野 5 市政運営」をお願いしたい。</p> |
| 事務局 | <p>「政策分野 5 市政運営」は行政運営に関する分野。市民意見を市政に反映させ、新たな行政需要に対応できるよう持続可能な財政運営に努めることを目的としている。ご意見をお願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>「施策 27 開かれた市政の推進」の取組に記載がある市長と語る会は、これまで開催したことがあるのか、それとも新しく取り入れたのか。</p> |
| 事務局 | <p>市長と語る会は以前から開催している継続的な取組になる。</p> |
| 委員 | <p>年に何回実施されているのか。</p> |
| 事務局 | <p>昨年はコロナ禍で開催できていないが、以前は地区ごとに1回ずつの年4回は実施していた。近年は企業、団体、申込のあった区へ実施している。</p> |
| 会長 | <p>「施策 28 効率的な行政運営」の取組にオンライン活用して24時間問い合わせ対応するというのはどうということか。</p> |
| 事務局 | <p>チャットボットでの24時間質問受付のことである。AIを活用しており、定型の質問であればその場で回答可能。回答が難しいものは別途回答するなどして対応する。</p> |
| 委員 | <p>「施策 29 財政基盤の強化」で要望がある。市民広場が新しくなったが、物産館に溝が、最近の雨量増加に対応できていないように感じる。財政状況を見ながら公共施設を中心に改善を検討してもらいたい。</p> |
| 委員 | <p>質問だが、17年前に4市町村が合併した際かなりの役場職員が精神的に病んだと聞く。現在そのような職員はいるのか。また、合併の際、菊池市の行政運営に関する考え方のすり合わせは行ったのか。</p> |
| 事務局 | <p>年によって増減していると思うが、約10名程度ではないかと思う。合併前の各地区の整備については、合併当初の新市建設計画において15年間で整備を終了させることを取り決め、計画通りに完了している。</p> |
| 委員 | <p>各市町村の出身者での派閥争いはあるのか。事務処理上で差異がある関係で不祥事が明るみになったことはないのか。</p> |

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 基本的に方針は合併前に4自治体で行っていることを持ち寄り、すり合わせをしている。不祥事については合併が要因で発生したものではない。菊池市では評価制度を実施しており、地域性は反映していない。 |
| 会長 | 施策について様々な意見が委員から出た。事務局で受け止め、担当課に話をつなぎ、修正等についてを検討してもらいたい。 |
| 会長 | (2) その他の内容について事務局から説明をお願いしたい。 |
| 事務局 | 次回審議会日程について。次回は第6回目の策定審議会となる。11/1(月)の13:30から開催する。次回は計画素案の修正に加え、成果指標についても審議をお願いしたい。 |
| 事務局 | 以上で第5回菊池市総合計画策定審議会を閉会する。 |